

平成24年度
実施事業

事務事業名 小学校耐震診断等事業

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	3	教育環境の充実
主要な施策	1	①児童生徒の安全確保
事務事業番号	013	事業開始年度 平成 21 年度 事業終了年度 平成 26 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	総務グループ
-----	-----	-------	--------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	大型地震の発生に備え、安全・安心な教育環境を整備する事を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	耐震化優先度調査の結果に沿って、地震に対して倒壊等の危険性があると推定される建物の詳細な状況を把握するため、耐震診断（2次診断）を行い、耐震性能を把握して、耐震補強工事又は改修工事の実施計画を行う。 ※平成24年度実施箇所 富岸小学校校舎・屋内運動場 2棟 登別小学校屋内運動場 1棟
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	次年度も未診断である学校施設の耐震診断（2次診断）を実施する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	建物等の耐震改修の促進に関する法律・地震防災対策特別措置法・学校教育法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

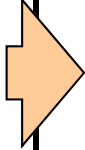
区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 社会資本整備総合交付金（住宅・建築物安全ストック形成事業）	千円	499	2,270	1,690	3,713	
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	1,001	4,545	3,380	8,835	
事業費 合計			1,500	6,815	5,070	12,548	0

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 診断対象小学校	棟	目標値	1	5	2	7	
			実績値	1	3			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
H20年度時点では、2次診断の未実施の施設が多数あり、どの学校施設から診断を行い、耐震化を進めるべきか計画できない状況であった。	H20年度に耐震診断（2次診断）を実施する順番を決める耐震化優先度調査を実施し、その結果に基づき計画的かつ継続的に実施を行っている。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）		《Check》	
1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 大型地震に備え児童等の安全を確保するとともに、地域の避難所としての機能も併せ持つことから、全ての公立学校施設の耐震化に向け市が行うべき事業である。
	<input type="radio"/>	② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 近年の大型地震などにより、市民の地震など自然災害に対する関心が高く、避難所となる公立学校施設を全て耐震化するために必要な事業である。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 耐震化優先度調査の結果より、耐震診断を計画的に行っている。診断に必要な経費は国の補助金等を活用している。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 診断事業を実施することで、耐震性能を把握することが出来、これに基づき公立学校施設の耐震化を計画的に進めることが出来ており成果は向上している。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価		《Check》
維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	児童が学習する場である学校施設の地震に対する安全確保の推進を図る。

②行政評価会議による評価		《Check》
維持	備考	